



JAPAN ACCOUNTING ASSOCIATION

日本会計研究学会 第75回大会

2016(平成28)年
9月11日(日)～14日(水)



静岡大学



常葉大学



静岡県立大学



静岡産業大学

ご 挨 拶

会員各位

日本会計研究学会の会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび日本会計研究学会第75回大会が、静岡コンベンションアーツセンターグランシップにて開催されることとなりました。このような大規模な大会が静岡の地で開催されるにあたりその運営に携わることができることを、誠に光栄なことであると存じております。

本大会はこれまでの大会と異なり、特定の開催校がございません。それに代えて、日本会計研究学会と静岡県内の4大学（静岡大学、静岡県立大学、静岡産業大学、常葉大学）に所属する会員との共同開催となっております。このため理事会の申し合わせによりプログラム委員会が組織され、静岡地区で組織された準備委員会と共同でプログラムの策定、大会準備及び運営が行われることとなりました。これまでの大会運営とは異なる部分がございますがご了解願います。

さて、「グローバル化」をキーワードに多くのことが語られるようになって久しいかと存じます。本学会でもこれをテーマに活発な議論が展開されてきました。これまでの議論の多くは、グローバル化を進める組織体あるいは制度を限定し、それらのグローバル化への対応を主とする一方向のものでした。しかし今日では会計学が研究対象とする組織体は広範なものとなり、それら組織体のグローバル化もまた双方向さらには多方向へと進んでいます。組織体と世界は、特定の制度機構あるいは組織を通じてだけでなく直接に結びつくようになりました。その結びつきは、たんに国と世界の結びつきだけでなく、地方と世界、地方と国など多様なものとなります。このような多様な状況下での会計研究を意識し、本大会の統一論題のテーマを「グローバル時代の会計」といたしました。グローバルとローカルの多様な結びつきのもとの会計研究の取り組みをテーマとしております。

本大会ではこのような多様化した状況を踏まえ統一論題を

5会場設定しました。各会場におけるテーマは「財務報告におけるローカルとグローバル」「管理会計のグローバル化とローカライゼーション」「監査のグローカリゼーション —真のグローバル化を見据えて—」「グローバル時代の税務会計」「グローバル時代の地方自治体会計 —JPSAS の設定に向けて」です。それぞれの会場に多数の皆様が足を運ばれ、活発な議論が展開されることを願っています。

また本大会では、アメリカ会計学会前会長の Bruce K. Behn 教授(テネシー州立大学)を招待し、特別講演会を企画しております。独創的かつ多彩な研究のみならず、会計教育についても造詣の深い教授の講演はわれわれに多くの示唆を与えていただけるものと期待します。

さらに会場の制約がある中で、IFRS/ASBJ セッションおよび国際セッションも例年どおり企画するとともに、多様な多くの自由論題報告の機会もご用意することができました。

本大会の各報告につきましては、日本公認会計士協会の継続的専門研修制度における CPE 認定研修として承認されております。多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

最後に、本大会の開催にあたりましては、一部施設の貸与をしていただいた常葉大学をはじめとする県内4大学ならびに公益財団法人静岡観光コンベンション協会より人的並びに財政的ご支援をいただきましたことを記するとともに関係各位に厚く御礼申し上げます。

2016(平成28)年7月1日

日本会計研究学会第75回大会準備委員会

委員長 永田 守男

委員 石川 文子、上野 雄史、太田 裕貴、
大塚 成男、酒井 大策、佐藤 和美、
田中 薫、林 兵磨、松井 富佐男、
森 勇治、山本 公敏

プログラム委員長

齋藤 真哉

委員 加賀谷 哲之、佐藤 誠二、佐藤 信彦、
林 隆敏、松尾 貴巳

参加登録手続き

- (1) 大会参加費は会員8,000円、会員以外10,000円です。会員以外の方は当日受付のみとします。懇親会費は事前申込7,000円、当日申込10,000円です。
- (2) 大会のご参加に際しましては、インターネットを通じて、下記の「参加登録システム」による参加登録および参加費の決済をお願いいたします。宿泊ホテルにつきましても、準備委員会で400室程度を確保しておりますので、「参加登録システム」を通じてお申込み下さい。具体的なホテルは申込時に選択できますが、先着順となりますので、ご了解をいただきますようお願いいたします。また、13日(火)および14日(水)の弁当につきましても、「参加登録システム」よりお申込みいただけます。(会場周辺には飲食店等はありませんのでご注意ください。)

なお、名札等の準備がありますので、参加登録および参加費のお支払いは8月15日(月)までにお願いいたします。支払期日以降の懇親会のお申込みは当日受付となりますので、予めご了承下さい。

参加登録システム

<http://www.jaa-net.jp/jaa2016/page3.html>

情報の入力画面はSSLによるセキュリティ措置を講じております

- (3) 大会参加費および懇親会費の領収書は、大会当日にお渡しいたします。なお、お支払いいただいた金額については払い戻しをいたしませんので、ご了承下さい。
- (4) 大会会場へのお車でのご来場はご遠慮ください。(準備委員会では駐車料金の負担はいたしません。)
- (5) 会場となりますグランシップにおいて、中ホール内での飲食は禁止されております。お飲物等の中ホールへのお持込みはご遠慮下さい。
- (6) 台風などの悪天候が予想されるときは、本大会ウェブサイトを通じて情報提供を行います。
- (7) お問い合わせは、本大会ウェブサイトにした下記のお問い合わせフォームもしくは郵便(裏表紙参照)をお願いいたします。

第75回全国大会 お問い合わせフォーム

<http://www.jaa-net.jp/jaa2016/contact.html>

目 次

大会全体スケジュール	1
理事会・評議員会等スケジュール	4

大会第1日目 9月12日(月)

グランシップ・ホテルアソシア静岡

会員総会	5
特別委員会報告	5
スタディ・グループ報告	6
特別講演会	6
懇 親 会	6

大会第2日目 9月13日(火)

グランシップ

国際セッション	7
自由論題報告Ⅰ	8
自由論題報告Ⅱ	13
統一論題報告	19

大会第3日目 9月14日(水)

グランシップ

自由論題報告Ⅲ	22
統一論題討論	27
IFRS/ASBJ セッション	28

アクセスマップ

グランシップ・ホテルアソシア静岡	29
------------------------	----

会 場 図

グランシップ	30
--------------	----

大会全体スケジュール

第1日目 9月12日(月)

会場：グランシップ・ホテルアソシア静岡

11:00～17:00 **参加者受付** (グランシップ1階ロビー)

18:30～19:30 **参加者受付(懇親会受付のみ)**
(ホテルアソシア静岡 3階)

12:00 **新入会員発表** (グランシップ1階ロビー)

12:40～14:10 **会員総会** (グランシップ 中ホール)

14:20～15:00 **特別委員会報告** (グランシップ 中ホール)
小菅 正伸 委員長

15:05～15:45 **特別委員会報告** (グランシップ 中ホール)
山浦 久司 委員長

16:00～16:40 **スタディ・グループ報告**
伊藤 嘉博 主査 (グランシップ 中ホール)
松本 祥尚 主査
(グランシップ10階 会議室1001-1)
北村 敬子 主査
(グランシップ10階 会議室1001-2)

16:55～17:55 **特別講演会** (グランシップ 中ホール)
Dr. Bruce K. Behn (アメリカ会計学会・前会長)

19:00～21:00 **懇親会** (ホテルアソシア静岡 3階「駿府」)
※懇親会会場(3階)へは、エスカレーターをご利用ください。

※司会者・報告者等の氏名は敬称を略しております。

第2日目 9月13日(火)

会場：グランシップ

9:00～15:30 **参加者受付** (グランシップ10階)

9:30～13:55 **国際セッション** (グランシップ2階 映像ホール)

9:30～11:50 **自由論題報告Ⅰ** (グランシップ9階・10階)

12:50～15:10 **自由論題報告Ⅱ** (グランシップ9階・10階)

15:30～17:40 **統一論題報告**

財務会計 (グランシップ11階 会議ホール風)

管理会計 (グランシップ6階 交流ホール)

監 査 (グランシップ9階 会議室910)

税務会計 (グランシップ10階 会議室1001-1)

地方自治体会計
(グランシップ10階 会議室1001-2)

第3日目 9月14日(水)

会場：グランシップ

9:00～15:30 **参加者受付** (グランシップ10階)

9:30～11:50 **自由論題報告Ⅲ** (グランシップ9階・10階)

13:00～14:45 **統一論題討論**

財務会計 (グランシップ11階 会議ホール風)

管理会計 (グランシップ10階 会議室1002)

監 査 (グランシップ9階 会議室910)

税務会計 (グランシップ10階 会議室1001-1)

地方自治体会計
(グランシップ10階 会議室1001-2)

※管理会計の会場が13日とは異なりますので
ご注意ください。

15:00～17:00 **IFRS/ASBJ セッション**
(グランシップ 11階 会議ホール風)

理事会・評議員会等スケジュール

9月11日(日)

会場：常葉大学 静岡キャンパス 水落校舎

12:00～13:00 入会資格審査委員会
(水落校舎 6階、第1会議室)

13:00～15:00 学会賞および太田・黒沢賞審査委員会
(水落校舎 6階、第1会議室)

15:00～17:00 理事会 (水落校舎 7階、第3会議室)

9月12日(月)

会場：グランシップ

9:30～10:00 評議員受付 (グランシップ 1階ロビー)

10:00～12:00 評議員会 (グランシップ10階 会議室1001-1)

大会詳細スケジュール

第1日目 9月12日(月)

会場：グランシップ・ホテルアソシア静岡

参加者受付 11:00～17:00 (グランシップ 1階ロビー)

参加者受付(懇親会受付のみ) 18:30～19:30
(ホテルアソシア静岡 3階)

新入会員発表 12:00 (グランシップ 1階ロビー)

会員総会 12:40～14:10 (グランシップ 中ホール)

特別委員会報告 (グランシップ 中ホール)

特別委員会報告(1) 14:20～15:00

特別委員会報告(2) 15:05～15:40

(発表時間 各30分 質疑応答 各10分)

特別委員会報告(1) 司会：清水 孝(早稲田大学)
委員長：小菅 正伸(関西学院大学)

戦略経営と管理会計に関する総合的研究(中間報告)

特別委員会報告(2) 司会：亀井 孝文(南山大学)
委員長：山浦 久司(明治大学)

新しい地方公会計の理論、制度、および活用実践
(最終報告)

スタディ・グループ報告 16:00～16:40

(発表時間 各30分 質疑応答 各10分)

スタディ・グループ報告(1)

(グランシップ 中ホール)

司会：澤邊 紀生(京都大学)

主査：伊藤 嘉博(早稲田大学)

「統合報告」が企業会計に及ぼす影響に関する考察
(中間報告)

スタディ・グループ報告(2) (グランシップ10階 会議室 1001-1)

司会：堀江 正之(日本大学)

主査：松本 祥尚(関西大学)

開示情報の拡張と監査枠組みの多様化に関する研究
(中間報告)

スタディ・グループ報告(3) (グランシップ10階 会議室 1001-2)

司会：倉田 幸路(立教大学)

主査：北村 敬子(中央大学)

わが国における女性会計学者の現状と課題(最終報告)

特別講演会 16:55～17:55

(グランシップ 中ホール)

司会：平松 一夫(関西学院大学名誉教授)

Accounting as a Learned Profession :
What is the Pathway ?

Dr. Bruce K. Behn

(アメリカ会計学会・前会長、テネシー大学・教授)

懇親会 19:00～21:00

(ホテルアソシア静岡 3階「駿府」)

第2日目 9月13日(火)

会場：グランシップ

参加者受付 11:00～15:30 (グランシップ10階)

会員控室 9:00～15:00 (グランシップ10階 会議室 1001-1)

国際セッション

(グランシップ2階 映像ホール)

報告(1) 9:30～10:00

報告(2) 10:05～10:35

(休憩 10分)

報告(3) 10:45～11:15

報告(4) 11:20～11:50

(休憩 60分)

報告(5) 12:50～13:20

報告(6) 13:25～13:55

(発表時間 各 20分 質疑応答 各 10分)

司会：尾畑 裕(一橋大学)

- (1) Configurations of Management Control Systems (MCSs) and Environmental Management Control Systems (EMCS) : An International Comparison of German and Japanese Firms

梶原 武久(神戸大学)

トーマス・ギュンター(ドレスデン工科大学)

國部 克彦(神戸大学)

西谷 公孝(神戸大学)

- (2) 韓国会計学会または台湾会計学会からの招待報告者

司会：高田 知実(神戸大学)

- (3) 台湾会計学会からの招待報告者

- (4) 韓国会計学会からの招待報告者

司会：與三野 禎倫(神戸大学)

- (5) Does Corporate Governance Mechanism Restrain Accounting Fraud ? : Evidence from Japan

中島 真澄(千葉商科大学)

- (6) 韓国会計学会または台湾会計学会からの報告

自由論題報告 I

第1会場～第10会場

報告(1) 9:30～10:00

報告(2) 10:05～10:35

(休憩 10分)

報告(3) 10:45～11:15

報告(4) 11:20～11:50

(発表時間 各20分 質疑応答 各10分)

第1会場(グランシップ9階 会議室901)

司会：会田 一雄(慶應義塾大学)

- (1) 一般社団・一般財団法人等の連結範囲規制に関する
一考察

橋上 徹(県立広島大学)

- (2) 地方自治体における予算編成改革
一コンテキストが及ぼす影響一

森 勇治(静岡県立大学)

ウディン・シャザード(エセックス大学)

アドヒカリ・パワン(エセックス大学)

司会：佐藤 誠二(同志社大学)

- (3) 独立行政法人の行政サービス実施コスト計算書の検討
石田 晴美(文教大学)

- (4) ドイツ公会計基準における世代間衡平性の意義
一将来世代の保護による現在世代と将来世代の
利害調整一

金子 善行(帝京大学)

第2会場(グランシップ9階 会議室902)

司会：小津 稚加子(九州大学)

- (1) EC 第4号指令における選択権の生成過程の分析
—ドイツのイニシアチブの導出—

高木 正史(別府大学)

- (2) 付加価値概念再考
—フランスにおける付加価値計算の意義—

小関 誠三(中央大学)

司会：万代 勝信(一橋大学)

- (3) 工事進行基準における成果の確実性
—会計と税務における相違点—

神山 直規(横浜国立大学大学院生)

- (4) わが国の建設業における IFRS 第15号の影響
—本人か代理人かの判断を中心とした考察—

加藤 美樹雄(関東学園大学)

第3会場(グランシップ9階 会議室903)

司会：古庄 修(日本大学)

- (1) 非財務情報の財務報告

飯塚 雄基(早稲田大学)

- (2) 英国における非財務報告制度の現状と今後の趨勢

深谷 和広(愛知東邦大学)

司会：向山 敦夫(大阪市立大学)

- (3) 環境ディスクロージャーと環境パフォーマンスの
関連性

東 健太郎(立命館大学)

王 睿(神戸大学大学院生)

- (4) 環境報告書内での設備投資情報開示に関する考察
—雨水貯留槽設置のインセンティブ分析—

田中 真由美(福井工業大学)

第4会場(グランシップ9階 会議室904)

司会：中條 祐介(横浜市立大学)

(1) 包括利益とアナリスト予想に関する実証研究

根建 晶寛(福島大学)

高橋 美穂子(東北大学)

(2) クリーン・サープラス関係を利用した時間的に変動する期待リターンの推計

小野 慎一郎(大分大学)

村宮 克彦(大阪大学)

司会：椎葉 淳(大阪大学)

(3) アナリストによる情報取得と公共財問題

小谷 学(金沢学院大学)

(4) 配当割引モデルと割引超過利益モデルの等価性と実証研究

福井 義高(青山学院大学)

第5会場(院生セッション)(グランシップ9階 会議室905)

司会：古田 美保(甲南大学)

(1) 限界顕在税率の計算方法

河瀬 豊(大阪府立大学大学院生)

(2) 実効税率、税リスク、および企業リスクの実証的関連性

大洲 裕司(大阪市立大学院生)

司会：米谷 健司(東北大学)

(3) 欠損金の繰越控除期間と企業の課税所得調整行動

成川 旦人(横浜市立大学大学院生)

(4) 税効果会計の導入と会計処理の選択と関連性

積 惟美(一橋大学大学院生)

第6会場(院生セッション) (グランシップ9階 会議室906)

司会：渡辺 竜介(関東学院大学)

(1) 産業革命期における割引現在価値による資産評価

野口 翔平(日本大学大学院生)

(2) 公益企業財産の公正価値に関する歴史的研究

—わが国昭和初期からの戦前期までの文献を中心として—

藤川 晴基(広島大学大学院生)

司会：藤井 秀樹(京都大学)

(3) 特許群の公正的な価値評価に向けて

—米国パテントプールの現状—

黄 智明(広島大学大学院生)

(4) 資産負債アプローチによる収益認識の検討

—混合測定会計の論理を求めて—

高坂 紀広(中央大学大学院生)

第7会場(グランシップ9階 会議室907)

※(2)は院生セッション

司会：兼村 高文(明治大学)

(2) 大規模災害に被災した自治体における

PDCA サイクルの有効範囲 —常総市の事例から—

生方 裕一(筑波大学大学院生)

松尾 貴巳(神戸大学)

岡田 幸彦(筑波大学)

司会：水野 一郎(関西大学)

(3) 創業過程における会計機能の役割に関する基礎的分析

岡田 幸彦(筑波大学)

田口 莊輔(筑波大学大学院生)

大江 秋津(日本大学)

(4) 看護部門へのバランスト・スコアカードの

導入に関する考察

阪口 博政(国際医療福祉大学)

挽 文子(一橋大学)

第8会場(グランシップ9階 会議室908)

司会：薄井 彰(早稲田大学)

(1) 株式会社の連結配当規制に関する考察

酒巻 雅純(東京証券取引所)

(2) 財務制限条項への抵触と負債コストに関する実証分析

河内山 拓磨(亜細亜大学)

中村 亮介(筑波大学)

司会：石川 博行(大阪市立大学)

(3) 配当の安定性と利益平準化に関する実証分析

青木 康晴(成城大学)

(4) 配当政策と退職給付に係る負債

野間 幹晴(一橋大学)

第9会場(グランシップ10階 会議室1002)

司会：志賀 理(同志社大学)

(2) 負債・資本の区分に関する

IASB 概念フレームワークの検討

—ドイツ企業の観点を中心として—

青木 隆(日本大学)

司会：米山 正樹(東京大学)

(3) IFRS 第15号における収益認識アプローチと

IASB 概念フレームワークとの整合性分析

—概念フレームワークの目的と役割—

国田 清志(専修大学)

(4) IASB の概念フレームワークの計算構造について

岩崎 勇(九州大学)

司会：建部 宏明(専修大学)

(2) 防衛調達に関する契約時概算価格と

実績価格との差異の検証

—利益調整研究手法の応用—

森光 高大(日本経済大学)

尻無濱 芳崇(山形大学)

司会：小林 啓孝(早稲田大学)

(3) アメリカ国防総省管理会計研究

—予算管理制度(PPBES)の研究を中心として—

岡野 憲治(松山大学名誉教授)

(4) 政府の防衛装備品へのパフォーマンス基準の適用と
その留意点

—国防省と防衛省の契約価格算定方式の対比に
ついて—

櫻井 通晴(専修大学名誉教授)

自由論題報告Ⅱ

第1会場～第10会場

報告(5) 12:50～13:20

報告(6) 13:25～13:55

(休憩 10分)

報告(7) 14:05～14:35

報告(8) 14:40～15:10

(発表時間 各20分 質疑応答 各10分)

第1会場(グランシップ9階 会議室901)

司会：池田 幸典(愛知大学)

(5) 資本と負債の区分

—会計主体論と会計の利害調整機能に関連させて—
今村 猛(公認会計士)

(6) 権利確定条件付き有償新株予約権に関する一考察

山下 克之(追手門学院大学)

司会：草野 真樹(京都大学)

(7) リース債務と格付評価の関連性

古賀 裕也(一橋大学)

(8) リース会計基準の変更がリース活用に与える影響

高橋 由香里(武蔵大学)

加賀谷 哲之(一橋大学)

第2会場(グランシップ9階 会議室902)

司会：前山 政之(横浜国立大学)

(5) 継続企業の前提に関する注記の情報量と

株主資本コスト

伊藤 健顕(甲南大学)

越智 学(大分大学)

(6) GC注記の「吹っ切れ効果」に関する実証研究

浦山 剛史(姫路獨協大学)

司会：浦崎 直浩(近畿大学)

(7) 多欄式財務諸表の構想

竹島 貞治(金沢大学)

(8) 「レベル4」公正価値と重要な不確実性

—「合理的検証可能性」による概念的基礎付け—

越智 信仁(尚美学園大学)

第3会場 (グランシップ9階 会議室903)

司会：小西 範幸 (青山学院大学)

(5) 統合報告書の発行に対する株式市場の反応に関する
イベントスタディ

譚 鵬 (中部大学)

榊原 茂樹 (関西学院大学)

(6) 統合報告における課題
—2015年環境省パイロットプログラムの結果を
踏まえて—

白田 佳子 (法政大学)

司会：鷹野 宏行 (武蔵野大学)

(7) コンテンツ会計の前梯的考察
—映画コンテンツ資産の会計慣行における問題点—

長田 芙悠子 (明治大学)

(8) わが国における包括利益情報の開示について

井手 健二 (龍谷大学)

第4会場 (グランシップ9階 会議室904)

司会：藤田 晶子 (明治学院大学)

(5) アカウンタビリティとリアルオプション

佐藤 清和 (金沢大学)

(6) インタングИБルによる企業価値への影響

伊藤 和憲 (専修大学)

関谷 浩行 (北海学園大学)

司会：秋葉 賢一 (早稲田大学)

(7) マクロ会計政策の進化多様性
—日本のケース—

真田 正次 (就実大学)

(8) independent auditor の啓蒙と GAAP の形成

竹森 一正 (中部大学名誉教授)

第5会場(院生セッション) (グランシップ9階 会議室905)

司会：柴 健次(関西大学)

- (5) 社会会計の発展におけるミード・ストーン体系の意義
内田 綾(中央大学大学院生)

- (6) チェンバース初期会計理論の構造と方法論
井奈波 晃(中央大学大学院生)

司会：一ノ宮 士郎(専修大学)

- (7) 利益ベンチマークに基づく利益調整の実証研究
—包括利益の表示に関する会計基準適用前後を
中心として—
張 姣(近畿大学大学院生)

- (8) 日本企業の海外進出行動は利益の質を高めるのか
顧 俊堅(名古屋大学大学院生)
仙場 胡丹(名古屋大学)

第6会場(院生セッション) (グランシップ9階 会議室906)

司会：白木 俊彦(南山大学)

- (5) IASBにおける金融商品に係る減損モデルの
歴史的変遷
—損失発生モデルと予想損失モデルの間で—
根岸 亮平(早稲田大学大学院生)

- (6) オプション取引を用いるヘッジ取引に関する
会計処理の検討
—通貨オプションを用いる予定取引—
李 焱(横浜国立大学大学院生)

司会：大日方 隆(東京大学)

- (7) 集約利益情報のアナウンスメント効果
吉永 裕登(一橋大学大学院生)
- (8) 日本における株主還元策の評価
—Ohlson(2001)モデルによる株主価値との
関連性の分析—
新谷 理(早稲田大学大学院生)

第7会場(グランシップ9階 会議室907)

司会：音川 和久(神戸大学)

(5) 負債政策と租税負担削減行動、及びコーポレート・ガバナンスの関連性

加藤 恵吉(弘前大学)

大沼 宏(東京理科大学)

(6) 税制適格ストック・オプションの決定要因 —平成18年度改正による税制非適格オプションの 損金算入—

高橋 隆幸(横浜市立大学)

野間 幹晴(一橋大学)

酒井 佳貴(日東電工)

司会：海老原 崇(武蔵大学)

(7) 設備投資が将来業績に及ぼす影響 —インプライド期待成長率に注目して—

太田 裕貴(静岡産業大学)

(8) 企業環境に適合した投資利益率の利用 —管理会計の生成・発展に関連して—

高栢 真一(久留米大学)

第8会場(グランシップ9階 会議室908)

司会：八重倉 孝(早稲田大学)

(5) 修正再表示の要因とコーポレート・ガバナンスの 関係に関する実証分析

佐久間 義浩(東北学院大学)

(6) 利益マネジメントのコーポレートガバナンスに 及ぼす影響

野田 昭宏(滋賀大学)

司会：大石 桂一(九州大学)

(7) 制度会計と利益観

丸岡 恵梨子(中央大学)

第9会場(グランシップ10階 会議室1002)

司会：山地 範明(関西学院大学)

(5) 利益属性の連単比較

加賀谷 哲之(一橋大学)

米谷 健司(東北大学)

(6) 人員削減前後の利益属性

藤山 敬史(神戸大学)

黒木 淳(横浜市立大学)

司会：園田 智昭(慶應義塾大学)

(7) 管理会計学と管理会計実践のギャップが生まれる要因 —郵送質問票調査に基づく考察—

福島 一矩(西南学院大学)

篠原 巨司馬(福岡大学)

(8) 組織間での契約と原価管理活動の実施

坂口 順也(関西大学)

第10会場(グランシップ10階 会議室1003)

司会：加藤 正浩(龍谷大学)

(5) 監査人交代時における退任監査人による意見表明の 意義 —臨時報告書上の記載事例を通じて—

酒井 絢美(同志社大学)

(6) 公正価値監査における合理性の判断規準

永見 尊(慶應義塾大学)

司会：荒井 耕(一橋大学)

(7) 民間医療サービス提供主体における 経営実態把握手段として連結財務諸表の意義 —医療の非営利性の解釈を中心として—

海老原 諭(国際医療福祉大学)

(8) 病院の質的情報と財務の関係性に関する研究

田中 伸(滋慶医療科学大学院大学)

田中 龍也(滋慶医療科学大学院大学研究生)

統一論題報告 15:30～17:40

「グローバル時代の会計」

報告(1)

報告(2)

報告(3)

(発表時間 各 40 分)

第1会場(グランシップ11階 会議ホール風)

座長：角ヶ谷 典幸(名古屋大学)

「財務報告におけるローカルとグローバル」

(1) 財務報告規制のローカルとグローバル

小形 健介(長崎県立大学)

(2) グローカル問題と実験制度会計論

田口 聡志(同志社大学)

(3) マクロ会計とマクロ経済

中野 誠(一橋大学)

第2会場(グランシップ6階 交流ホール)

座長：中川 優(同志社大学)

「管理会計のグローバル化とローカライゼーション」

(1) 日本企業のグローバル化と

マネジメント・コントロール・パッケージ

窪田 祐一(南山大学)

(2) 日系企業の活動のグローバル化に伴う管理会計の進化

諸藤 裕美(立教大学)

(3) MFCA の利用に対する環境マネジメントに関する
組織能力の影響

北田 皓嗣(法政大学)

第3会場(グランシップ9階 会議室910)

座長：蟹江 章(北海道大学)

「監査のグローカリゼーション —真のグローバル化を見据えて—」

- (1) 日本の監査基準設定におけるグローバル対応の
構図の分析

奥西 康宏(専修大学)

- (2) 監査規制・基準のグローカル化
—アカウンタビリティの観点から—

井上 善弘(香川大学)

- (3) 内部監査に期待される役割
—内部監査の品質評価が及ぼすガバナンス機能への
貢献可能性—

武田 和夫(明海大学)

第4会場(グランシップ10階 会議室1001-1)

座長：坂本 雅士(立教大学)

「グローカル時代の税務会計」

- (1) 制度会計のグローカル化が及ぼす税務会計への影響

藤井 誠(日本大学)

- (2) グローカル化による政策税制と租税法による
税務会計への影響

福浦 幾巳(西南学院大学)

- (3) 税務会計のグローカル化と企業行動の変化

大沼 宏(東京理科大学)

「グローバル時代の地方自治体会計
—JPSAS の設定に向けて—」

(1) 地方自治体会計における JPSAS の必要性

吉見 宏(北海道大学)

(2) IPSAS(国際公会計基準)の動向と
わが国の地方自治体会計への示唆

伊澤 賢司(新日本有限責任監査法人)

(3) 統一的な基準と自治体における業績情報利用の多様性

松尾 貴巳(神戸大学)

第3日目 9月14日(水)

会場：グランシップ

参加者受付 11:00～15:30

(グランシップ10階)

会員控室 9:00～15:00

(グランシップ9階 会議室903)

自由論題報告Ⅲ

第1会場～第10会場

報告(1) 9:30～10:00

報告(2) 10:05～10:35

(休憩 10分)

報告(3) 10:45～11:15

報告(4) 11:20～11:50

(発表時間 各20分 質疑応答 各10分)

第1会場(グランシップ9階 会議室901)

司会：山田 康裕(立教大学)

(1) のれんの税効果会計に関する一考察

澤井 康毅(帝京大学)

(2) のれん計上企業の将来業績の決定要因

一のれんと組織再編前の財政状態に着目した
実証分析一

奥原 貴士(四日市大学)

司会：田中 建二(明治大学)

(3) 資産負債アプローチによる経済的単一体説の 代替可能性

山下 奨(跡見学園女子大学)

(4) 組織再編の会計

山口 桂子(秀明大学)

司会：浜田 和樹(関西学院大学)

- (1) 品質定義における原価の役割
—戦略的製品開発についての実務的考察—
浅沼 宏和(TMA コンサルティング)

- (2) ABC の展開と原価階層に関する一考察
—C.T.Horngren の研究を中心に—
君島 美葵子(横浜国立大学)

司会：高橋 賢(横浜国立大学)

- (3) 製造原価特性の推移
—1980年-2009年における
我が国製造原価明細書の分析—
妹尾 剛好(和歌山大学)
新井 康平(群馬大学)
小野 慎一郎(大分大学)
庵谷 治男(長崎大学)
日時 壮浩(武蔵大学)
福島 一矩(西南学院大学)

- (4) 戦時期における減価償却の実務
—王子製紙を事例に—
山下 修平(秀明大学)

第4会場(グランシップ9階 会議室904)

司会：中野 貴之(法政大学)

(1) 不正会計と会計基準

鈴木 大介(麗澤大学)

山田 純平(明治学院大学)

(2) 国内会計制度の動向と課題

—IFRS 任意適用企業拡大の先にあるもの—

安藤 鋭也(三井物産)

司会：向 伊知郎(愛知学院大学)

(3) 国際会計基準の適用と会計情報の品質

—日本の任意適用企業を中心に—

増村 紀子(大阪経済大学)

(4) IFRS 適用会社の導入時分析

—JT・HOYA・日東電工・旭硝子—

大倉 雄次郎(関西大学名誉教授)

第5会場(院生セッション)(グランシップ9階 会議室905)

司会：浅野 敬志(首都大学東京)

(1) IFRS 適用が財務数値に与える影響

井上 謙仁(大阪市立大学大学院生)

(2) 業績予想の一貫性と株価反応

調 勇二(一橋大学大学院生)

司会：浅野 信博(大阪市立大学)

(3) 現代会計における持分法会計の位置づけ

—一行連結から測定基礎へ—

吉野 真治(早稲田大学大学院生)

(4) 監査役会の専門性と財務会計情報の品質

山本 健人(神戸大学大学院生)

第6会場(院生セッション) (グランシップ9階 会議室906)

司会：野間 幹晴(一橋大学)

- (1) 退職給付会計の未認識債務の有用性に関する実証研究
—2012-2015年3月期を対象として—

藤田 直樹(関西学院大学大学院生)

- (2) 個人株主開拓の経済的帰結

久多里 桐子(大阪市立大学大学院生)

司会：宮宇地 俊岳(追手門学院大学)

- (3) Does Non-Discretionary Conservatism Exist In Japan?
—Evidence and Implication from Japanese Listed
Companies—

呉 懿(神戸大学大学院生)

第8会場(グランシップ9階 会議室908)

司会：町田 祥弘(青山学院大学)

- (1) 自主規制機関が監査の品質に及ぼす影響
—公共財供給ゲームによる実験研究—

廣瀬 喜貴(高崎商科大学短期大学部)

後藤 晶(山梨英和大学)

- (2) 減損会計と透明性

—経営者と監査人における意見対立の開示効果の
実験研究—

三輪 一統(神戸大学)

田口 聡志(同志社大学)

藤山 敬史(神戸大学)

司会：松本 祥尚(関西大学)

- (3) The relationship between External and Internal
Audit Costs

矢澤 憲一(青山学院大学)

- (4) 監査法人の業種特化と監査の質

仙場 胡丹(名古屋大学)

第9会場(グランシップ10階 会議室1002)

司会：中村 博之(横浜国立大学)

(1) コントロール・パッケージの視点からみた グローバル経営のレビュー

松木 智子(帝塚山大学)
島 吉伸(近畿大学)
近藤 隆史(京都産業大学)

(2) コントロールのパラドックスとビジネス・モデル —フランス管理会計研究を通して—

大下 丈平(九州大学)

司会：青木 雅明(東北大学)

(3) 包括的業績評価が組織業績におよぼす影響 —予算厳格度による調整効果に着目して—

吉田 栄介(慶應義塾大学)
榊谷 奎太(慶應義塾大学大学院生)
徐 智銘(慶應義塾大学大学院生)

(4) 事業戦略の再構築 —収支分岐点からの考察—

金子 秀(埼玉大学)

第10会場(グランシップ10階 会議室1003)

司会：金子 良太(國學院大学)

(1) 私立大学の利益ベンチマークと実体的調整 —ゼロ利益仮説の検証—

黒木 淳(横浜国立大学)

(2) 非営利組織における補助金の会計処理

石津 寿恵(明治大学)

司会：河崎 照行(甲南大学)

(3) 会計基準体系における中小企業会計基準の位置づけ

宗田 健一(鹿児島県立短期大学)
櫛部 幸子(鹿児島国際大学)

(4) 中小企業におけるキャッシュ・フロー計算書のあり方 —中小会計指針 No.88を中心として—

岡部 勝成(日本文理大学)

統一論題討論 13:00～14:45

「グローバル時代の会計」

第1会場 (グランシップ11階 会議ホール風)

座長：角ヶ谷 典幸 (名古屋大学)

「財務報告におけるローカルとグローバル」

討論者：小形 健介 (長崎県立大学)

田口 聡志 (同志社大学)

中野 誠 (一橋大学)

梅原 秀継 (明治大学)

第2会場 (グランシップ10階 会議室1002)

※13日とは会場が異なりますのでご注意ください。

座長：中川 優 (同志社大学)

「管理会計のグローバル化とローカライゼーション」

討論者：窪田 祐一 (南山大学)

諸藤 裕美 (立教大学)

北田 皓嗣 (法政大学)

第3会場 (グランシップ9階 会議室910)

座長：蟹江 章 (北海道大学)

**「監査のグローカリゼーション
—真のグローバル化を見据えて—」**

討論者：奥西 康宏 (専修大学)

井上 善弘 (香川大学)

武田 和夫 (明海大学)

第4会場 (グランシップ10階 会議室1001-1)

座長：坂本 雅士 (立教大学)

「グローバル時代の税務会計」

討論者：藤井 誠 (日本大学)

福浦 幾巳 (西南学院大学)

大沼 宏 (東京理科大学)

座長：大塚 成男(千葉大学)

「グローバル時代の地方自治体会計
—JPSAS の設定に向けて—」

討論者：吉見 宏(北海道大学)

伊澤 賢司(新日本有限責任監査法人)

松尾 貴巳(神戸大学)

IFRS/ASBJ セッション 15:00～17:00

(グランシップ11階 会議ホール風)

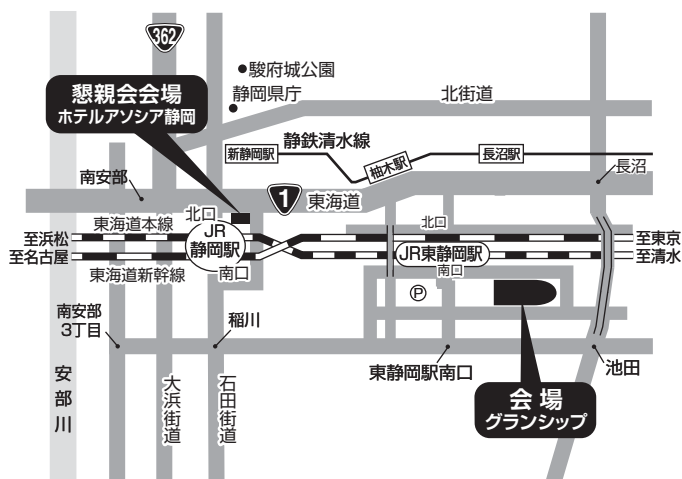
「のれんの会計処理に関する IASB の審議状況と
ASBJ による意見発信」

モデレーター：小賀坂 敦(企業会計基準委員会副委員長)

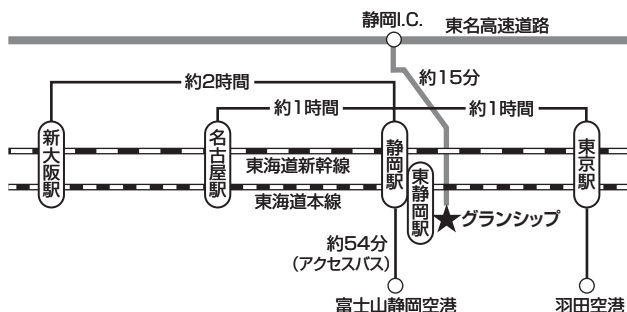
スピーカー：鶯地 隆継(IASB 理事)

川西 安喜(企業会計基準委員会常勤委員)

アクセスマップ

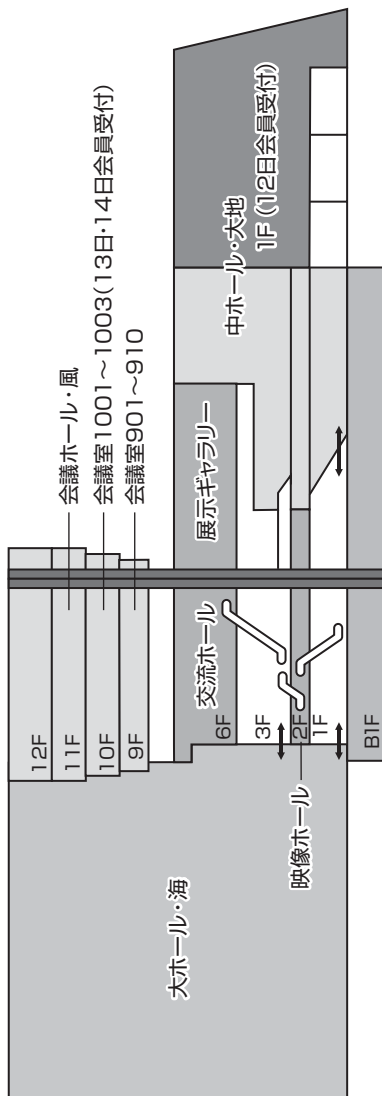


会場グランシップ アクセス



- JR「東静岡駅」南口隣接
- 静鉄清水線「長沼駅」から徒歩10分。
- 東海道新幹線(ひかり)で「東京駅」から1時間、「新大阪駅」から2時間。
JR「静岡駅」で乗り換え、「東静岡駅」まで3分。
- 車では東名高速道路「静岡I.C.」から6km、15分。
新東名高速道路「新静岡I.C.」から9km、15分。
静岡バイパス「千代田上土I.C.」から4km、10分。

グランシップ施設全体図



会場図

1F

中央通用口

エスカレーターで
2F国際セッションへ

エントランス
ホール

インフォメーション

メインエントランス

中ホール・大地

スタディグループ報告(1)
特別講演会
会員総会、特別委員会報告

2F

エスカレーター

国際
セッション

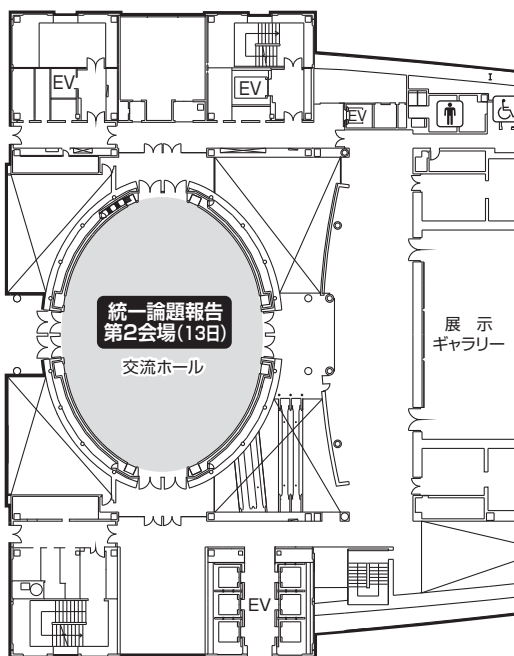
映像
ホール

ロビー

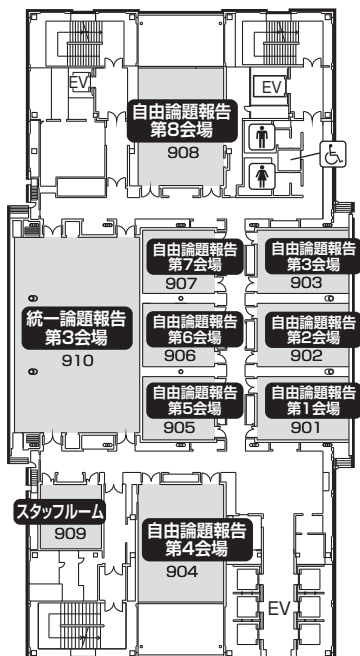
県立図書館
コーナー

会場図

6F

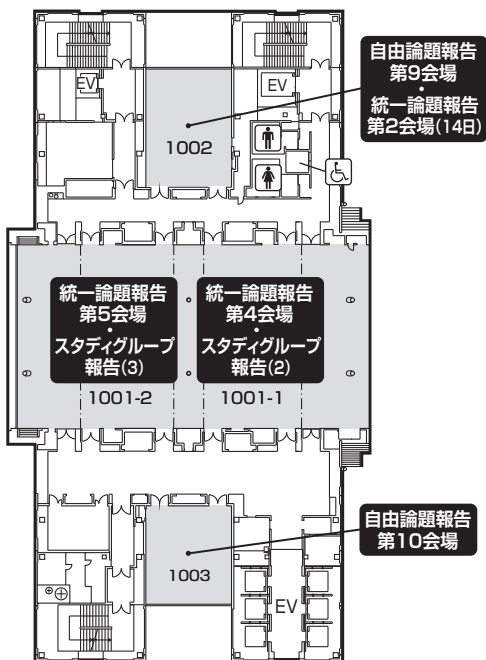


9F

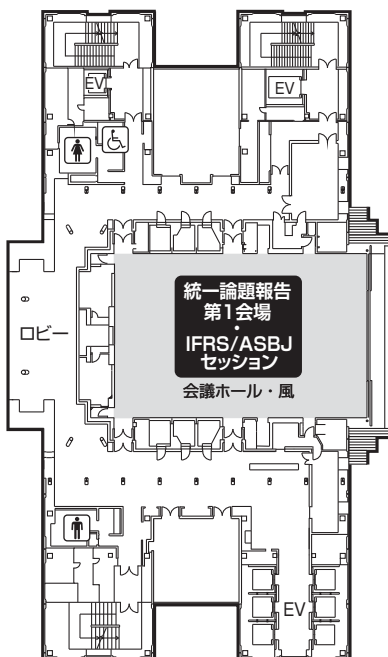


会場図

10F



11F





日本会計研究学会 第75回大会準備委員会

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部経済学科
永田研究室 内

E-mail: jaa2016@jaa-net.jp
<http://www.jaa-net.jp/jaa2016/>
